時事新報

軍事公債の不始末と日本銀行

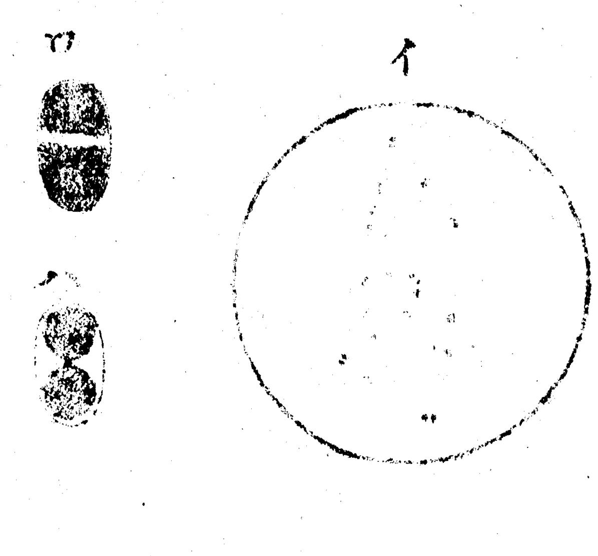
去月中大藏省は告示して軍事公債一千萬圓を募りたるに其結果案外の不首尾にして期日に到り應募の金額僅々百六十萬圓足らずとの事は其時の紙上に掲載したり。戰勝の餘威に依り萬事意の如く為らざるなき政府には聊か不似合と云ふ可きものなれども實は當局者が戰爭の當時公債募集の案外容易なりしに慣れて今日の實際に金融の如何を察するの明なかりしが爲めならんのみ今の諸株式の相場は金利を標準として五朱以下四朱內外に當るもの少なからざれども公債は却て之に反して五朱利附の軍事、整理等利拂の日限も眼前に在りながら百圓以上に上るみと難くして五月に至り此利子を引去れば實際の價は全く額面以下凡そ九十八圓の邊に在るものなり然るに政府は此邊の算數を無頓着に附して相場外の高値に賣出したるが故に之を買ふ者は一人も無き筈なるに尚は百六十萬の應募者を得たるは豫て聞く者の事にして金融の情勢を知らず百圓に付き二圓の損を知らざる無算當のみ扨政府に於て此不始末を如何に始末したるやと聞けば結局公衆の應募額百六十萬圓を引去りて殘り八百四十萬圓の內五百萬圓は政府にて引受け自から賣て自から買ふの姿にして尚ほ殘りの三百四十萬圓は日本銀行に負擔せしめたりと云ふ日本銀行は如何なる双露盤を以て斯る相場外れの公債を引受けたるや之を商賣人の取引として見る可らず百に付き二の損とあれば三百四十萬圓に付き六萬八千圓は日本銀行の全損にして然かも其損亡の迷惑は俗に云ふ株の下の力持にして世間に知る者はある可らず我輩が過日の紙上に日本銀行と政府との關係を評して親類附合と稱し商賣の取引に親類はある可らず双方共に取る者は取り拂ふものは拂ふて全く赤の他人の附合にす可し是れぞ即ち文明商略の本色にして銀行も政府も共に利益なりとの次第を論じたる其論説の墨痕未だ乾かざるの今日又もや銀行は六萬八千圓の大金を人の知らざる處に投棄して親類附合の義理を全ふしたり經濟界の奇觀に非ずして何ぞや固より親類とあれば政府も之を見殺しにするとはなかる可し何れ其中には妙案を案じ梃子の運轉に緩飾など云ふ何か埋合せの處分ある可しと雖も何分にも世間一般には其附合の內情を知らずして双方の一擧一動甚だ不審の種ならざるはなし堪へ難き次第ならずや畢竟今度の事は政府の失策より生じたることなれども人間の失策は一度に限らず今後度々此種の不都合あらば世間の疑はいよいよ深くして政府も銀行も兼て其區域外の關係に陥るみとある可し我輩は敢て双方の內情を摘發して難しむ者に非ず唯天下財政の安寧を謀りて日本銀行獨立の一義を勸告するのみ

雜報

○黒死病の來襲

●横濱の黒死病　前號の紙上に記せしが如く去月二十九日横濱に入港したる米國船ゲーリック號中より支那人患者(十七歳)と云ふ一人の黒死病患者上陸して横濱の支那病院に入りたるも患者に耐へ難きを以て市外中村に隔離し右支那人病院に入り支那醫者丁給棠の診察を受け[illegible]院するに四日、遂に死亡して其屍體は本月一日支那人共同墓地へ埋葬したるみと[illegible]一昨二日東京へ[illegible]

[illegible]



[illegible]

印度波斯より西比里亞に入り歐洲全部に流布して[illegible]北極に近きグリーンランドに迄及ぼし僅に其波及を免れたるは唯氷洲あるのみ此時歐洲にて此病氣に斃れたるものは二千五百萬人を超えて全歐洲當時の人口は四分の一を失ひたりと云ふ黒死病の名の起りしは實に此時にして病性は出血性瘟疫の如く皮膚出血の爲め暗黒色を呈するに至り死亡するが故に[illegible]其名を[illegible]なれども其出血此大流行の時の如く[illegible]は其後稀れなりといふ

●香港の黒死病　一昨年北里博士が香港に到りて同地黒死病[illegible]を探求し來りしみとは既に世人の知るみと[illegible]支那雲南地方には古來此病氣ありしも[illegible]地[illegible]にては屢々流行したり一昨年は遂に[illegible]より香港に渡り之が爲め死亡したるもの數千[illegible]達したりしも幸にして他の地方へは傳播せざりし[illegible]日本へ來りしは即ち此香港より感染し來りしも[illegible]にして支那人は世界一不潔の人種なれば病毒の傳染[illegible]一つ不足するところなく殊に黒死病には尤も適當の性質を有して常に暗黒なるところを好み恰も穴居の如く窓を少なくして光線の入らざるところに塵埃[illegible]を爲すを厭はず室內を數分して多數の家族雜居するのみならず婦人の如きは終日日光の見えざるところに[illegible]せしめて身體を外氣に觸れしめざれば黒死病の細[illegible]よりも彼等の身體に侵入するの道あり[illegible]